

◇◇近畿病院図書室協議会◇◇

平成 29 年度 第 44 回 総 会 報 告

日時：平成 30 年 3 月 23 日（金）

13：40～15：00

会場：キャンパスプラザ京都 2 階 第 1 会議室

総会プログラム

開会

1 会長挨拶

2 議長・副議長・書記 選出

3 議案審議

1) 平成 29 年度活動報告

2) 平成 29 年度会計・監査報告

3) 審議事項

4) 平成 30 年度活動方針

5) 平成 30 年度事業計画

6) 平成 30 年度予算

7) 平成 30 年度役員改選

幹事：井上智奈美 氏（三菱京）

寺澤 裕子 氏（大総セ）

吉原 理恵 氏（済中津）

監査：石川 尚子 氏（住 友）

村瀬 美佐 氏（滋賀医）

（選挙管理委員：岩崎 智子 氏

（コープ）、

栗岡 育子 氏

（済泉尾）

8) 平成 30 年度会長・事務局長承認

会長代行：増田 徹 氏（藍野大）

事務局長：増田 徹 氏（藍野大）

（議案 3）～8）は審議の結果、議案IV および
議案VI を除き承認された。）

閉会

総会員数：116 機関

出席 席：28 機関

委任状：58 機関

合 計：86 機関（会員の 2/3 以上の数を
みたし総会成立）

議案 I. 平成 29 年度活動報告

協議会の事業として、今年度も各部の活動を
例年通りに行なった。

平成 29 年度の特記事項は、KITOcat が 2017
年度末のサービス終了を受けて、新しい目録シ
ステムの構築を行なったことである。2 月の役員
会の時点ではまだ完成していないが、近畿病院
図書室協議会をこえて、病院図書館界の活性化
に寄与できる存在になることを願っている。

I-1. 協議会の運営

I-1-1. 会員の状況

会員数：116 機関（会員 112、賛助会員 4）

（平成 30 年 2 月現在）

I-1-2. 役員会

1. 活動報告

2018 年 2 月 14 日（水）

滋賀医療技術専門学校 4 名

2018 年 2 月 14 日、滋賀医療技術専門学校に
おいて平成 29 年度役員会が開催された。役員会
資料（平成 29 年度議案書草案）に沿って議事進
行し、平成 29 年度の活動報告、会計報告を審議
し、一部語句の修正を加えて了承された。また、
平成 30 年度の活動方針案、事業計画案、予算案
についても同様に審議され、追加・訂正を加え
て総会に諮ることになった。

次に、平成 30 年度会長については事務局長と
の兼任で増田 徹（藍野大）を選出したが、図書
館員の会長職への就任についてを含め、会則に

則り今年度の第44回総会に諮ることになった。

2. 平成29年度役員

会長：砂川 勇（滋賀医療技術専門学校 校長）
 事務局長：増田 徹（藍野大）
 幹事：井上智奈美（三菱京）
 寺澤 裕子（関労災）
 事務局会計兼任
 吉原 理恵（済中津）
 事務局総務兼任
 監査：石川 尚子（住友）
 村瀬 美佐（滋賀医）

I-1-3. 幹事会

1. 活動報告

4回の幹事会を開催し、会の運営にあたった。
 第1回 2017年4月26日（水）
 藍野大学4名
 第2回 2017年7月18日（火）
 大阪府済生会中津病院4名
 第3回 2017年10月20日（金）
 関西労災病院4名
 第4回 2018年1月24日（水）
 大阪府済生会中津病院4名

I-1-4. 事務局

1. 活動報告

- (1) 総会・役員会・幹事会の開催
 第43回総会
 議長：浅井 裕子（西尾市）
 副議長：釜石 千恵（大郡病）
 書記：松尾 知香（石切病）
 選挙管理委員長：岩崎 智子（コープ）
 選挙管理委員：栗岡 育子（済泉尾）
- (2) 会計業務ならびに関係書類の整備
- (3) ニュースレターの配信
 41号（2017年5月26日）
 42号（2017年9月15日）
 43号（2018年1月12日）
- (4) 交流会の開催

第11回交流会 in 神戸（2017年6月4日）

参加者：13名

(5) 電子ジャーナルのコンソーシアム価格の提案
 医学書院、EBSCO Information Services Japan およびサンメディアより電子ジャーナルのコンソーシアム価格による提供を受けた。9月11日付で会員に資料を発送した。

(6) 対外活動

5月19日（金）に聖路加国際大学 アリス・C・セントジョン メモリアルホールにて開催された、第88回日本医学図書館協会総会へ会長代理として増田事務局長が出席した。

(7) 総会記念企画（予定）

日程：2018年3月23日（金）
 時間：15時5分～16時10分
 場所：キャンパスプラザ京都2F 第1会議室
 演題：奥出麻里さんについてみよう—『病院図書館の世界』を出版して
 (聞き手 首藤 佳子)
 植草学園大学・植草学園短期大学図書館 奥出 麻里氏

I-2. 各部からの報告

I-2-1. 研修部

1. 活動報告

1回の勉強会、2回の研修会および1回の共催シンポジウムを開催した。

(1) 研修企画

第43回勉強会

日程：2017年7月15日（土）

時間：12時30分～17時00分

場所：大阪府済生会中津病院 南棟2階講堂

テーマ：新任者研修

プログラム：

①近畿病院図書室協議会について

藍野大学 中央図書館 増田 徹氏

②病院図書室の基本業務

石切生喜病院図書室 松尾 知香氏

③文献入手について

湘南藤沢徳洲会病院 医学情報センター
伊藤 友香 氏

④KITOcatの使い方

大阪府済生会中津病院図書室
吉原 理恵 氏

⑤ホームページ紹介・近図雲の使い方

三菱京都病院図書室 井上智奈美 氏

⑥共同リポジトリ KINTOREのご紹介

関西労災病院図書室 寺澤 裕子 氏

⑦大阪府済生会中津病院見学

参加者数：16名（講師除く）

2017年度日本医学図書館協会近畿地区会、日本薬学図書館協議会近畿・中四国・九州地区協議会、近畿病院図書室協議会3団協共催シンポジウム

日 程：2017年10月24日（火）

時 間：13時00分～17時00分

場 所：大阪大学生命科学図書館 4F AV
ホール

テーマ：「教え方」を学ぶ：医学系図書館におけるインストラクショナル デザイン
活用

プログラム：

①講演・ワークショップ

「教え方」を学ぶ：インストラクショナル
デザインについて

大阪大学全学教育推進機構 准教授
堀 一成 氏

②電子書籍の配信プラットフォームとして

メディカルオンライン 株式会社メテオ
深水 俊英 氏

③全体討議 質疑応答

参加者数：7名（KHLA 関係）

第141回研修会

日 程：2017年12月9日（土）

時 間：13:00～16:30

場 所：藍野大学中央図書館 3F 大会議室

テーマ：病院図書館の図書館システム

プログラム：

①図書室の『物品管理』を『意識』する

奈良大学 入学センター 磯野 肇 氏

②FileMakerを使った自館作成システム

三菱京都病院 図書室 井上智奈美 氏

③Accessを使った自館作成システム

公立学校共済組合近畿中央病院 図書室
鈴木千佳子 氏

④Excelを使った自館作成システム

大津赤十字病院 図書室 深井 鮎美 氏

⑤司書アシスト

日本バプテスト病院 図書室

福本 秀 氏、松本 圭子 氏

参加者：25名（会員22名、会員外2名、講師1名）

第142回研修会

日 程：2018年3月23日（金）

時 間：10時30分～12時00分

場 所：キャンパスプラザ京都2階 第1会
議室

テーマ：事例・研究報告会

プログラム：

①当院における図書室運営の経緯と業務について

神戸市立医療センター西市民病院職員
図書室 村上 敦子 氏

②病院図書室引継ぎ顛末記

国立病院機構京都医療センター 図書室
安井久見子 氏

③病院図書室での司書着任による効果

加古川中央市民病院 図書室
藤原 純子 氏

④新目録システム“coimo”について

藍野大学 中央図書館 増田 徹 氏

（2）部会

現在部員1名のため、研修会については幹事会にて幹事に相談した。

2. 今年度総括

平成29年度は昨年同様1回の勉強会、2回の研修会および1回の共催シンポジウムを開催した。研修会や勉強会でたくさんの会員が発表を

買って出ていただき、感謝している。現在部員が1名で、幹事会の協力で何とか活動しており、会員のみなさまのご協力をお願いしたい。

3. 部 員

部 長：増田 徹（藍野大）

I – 2 – 2. 会誌編集部

1. 活動報告

会誌 35 卷 2 号を発行。

配布部数：189 部（会員 117、購読会員 47、
交換・寄贈 25）

印刷部数：各号 300 部

(1) 会誌内容概略

35 卷

2 号（発行 2017 年 11 月 78 頁）

特集：一歩すすんだ看護師さん

専門看護師・認定看護師・認定看護管理者の役割と位置づけ

「慢性疾患専門看護師の活動」と「病院図書館に希望する支援」について

感染管理認定看護師の専門性について

一歩すすんだ看護師さんアンケートの結果
報告

特別寄稿：公共図書館での医療・健康情報サービスにおけるナラティブ情報の提供について

(2) シリーズ掲載

「図書館員のツボ」

31. 図書室で見かける綴り違い（Vol. 35 No. 2）

「ちょっとこぼれ話」

43. (Vol. 35 No. 2)

「使えるアプリ」

5. 翻訳アプリ Google 翻訳と救急ボイスト
ラ（Vol. 35 No. 2）

(3) 掲載広告各社

サンメディア

医学中央雑誌刊行会

丸善雄松堂

(4) 部会

第 1 回 2017 年 6 月 25 日（日）茨木 5 名

2. 今年度総括

部員の就労環境などにより、発行作業を回復することは難しく、平成 29 年度も 1 冊発行にとどまった。部員が他の部活動を複数兼務していること、図書館以外の業務が多忙であることなどが考えられたが、部員を増やす以外の改善策は見つからなかった。

35 卷 2 号は、「コメディカル部門を知る」の看護師版として企画し、掲載した。看護師といつてもさまざまな分野に専門化していることがわかる特集となった。

今年度は新たな部員を迎えた。今後は、新しい視点で特集企画などができると考えている。ただし、部員一名が退職により減少したため、発行作業の改善にはいたっていない。会誌編集に興味のある方はぜひとも入部していただきたい。一人の肩に多数の作業量がのっている現状ではどうにもならない。多人数で作業をわけあってなんとか会誌発行を維持していかなければと願っている。

今後も会員の皆さまからのあたたかいご声援とご協力をいただけすると幸いである。

3. 部 員

部 長：井上智奈美（三菱京）

部 員：寺澤 裕子（関労災）

深井 鮎美（大津赤）

増田 徹（藍野大）

松尾 知香（石切病）

I – 2 – 3. 統計調査部

1. 活動報告

(1) 図書室統計調査の実施と報告書の発行

今年度の統計調査は、平成 28 年度の実情について調査した。調査項目は「詳細」と「簡易」を隔年交互に実施しているが、今年度は簡易調査の年にあたっていた。

a. 調査対象期間：2017 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日

b. 調査対象：賛助会員を除く 112 施設に依頼

c. 調査項目：基本調査、年度統計調査

d. 作業経過：

- 2017年10月11日 電子メール、近図雲にて統計調査依頼文書、調査用エクセルファイアルの送信。
- 2017年11月1日 近図雲にて回答提出機関の確認。
- 2017年11月13日 近図雲にて回答提出機関の確認。
- 2017年11月17日 回答締切日。
- 2017年11月20日 近図雲にて回答提出機関の確認（督促）。
- 2017年10月11日～ 回答事項の確認を順に行う。
- 2018年1月13日 データチェック。
- 2018年3月（予定） 報告書を近図雲上にて公開。統計調査実データを、公開可とした施設に発送。

e. 回答施設：94施設（回答率84%）

うち実データ公開可とした施設は48施設。

(2) 部会

- 第1回 2017年4月26日（水）茨木3名
 第2回 2017年7月11日（火）大阪4名
 第3回 2018年1月13日（土）大阪3名

2. 文献の相互利用 一平成28年度近畿病院図書室協議会全体での件数一

〈相互貸借依頼〉	(91施設)	
協議会会員施設	6,992	(24.31%)
会員以外の病院	4,409	(15.33%)
大学図書館	8,722	(30.33%)
文献手配業者	6,525	(22.69%)
国立国会図書館	841	(2.92%)
その他	1,272	(4.42%)
	28,761	(100.0%)
〈相互貸借受付〉	(87施設)	
協議会会員施設	6,714	(47.59%)
会員以外の病院	5,522	(39.14%)
その他	1,871	(13.27%)
	14,107	(100.0%)

3. 今年度総括

平成28年度は簡易調査を行った。94施設(84%)からの回答を得、そのうち公開可とした施設は48施設であった。例年よりも高い回答数で部員一同喜んだ。忙しい中、統計調査にご協力くださった会員の皆さんには感謝を申し上げる。

質問事項は適宜見直し、適切に回答ができる質問を用意できるように検討しているが、データベース関係については判断に迷う商品が増えているのが実情である。統計調査部としても試行錯誤をしながら、取り組んでいきたい。

統計調査は自館の業務の見直し、また、自館と他館を比較して見ることで自館の現状を知る機会になる。また、社会における病院の図書館の現状を示す貴重な資料となる。

今後ともご協力をいただけようお願いしたい。

4. 部員

部長：吉原 理恵（済中津）

部員：寺澤 裕子（関労災）

畠 美之（阪警察）～2017年8月

増田 徹（藍野大）

I-2-4. ホームページWG

1. 活動報告

- (1) アルファミクスとの保守契約を更新（2017年8月～2018年7月）。
- (2) ホームページ修正は昨年同様各部で行った。修正箇所はトップページお知らせ欄に記載。
- (3) 会員専用ページ「近図雲」の利用調査実施

	2014年	2015年	2016年	2017年
実施期間	8/29～9/30	5/11～6/11	5/30～6/30	5/8～6/7
機関数	114	114	114	114
回答機関数	101	93	93	93
未回答機関数	13	21	21	21

(4) その他、ホームページWGで行った作業

- ・近図雲PCメール通知エラーへの対処
- ・新入会機関へのアカウント付与

- ・@hosplib.info メールアドレスの管理
- ・ホームページや近図雲への要望窓口
- ・ホームページ修正ソフトのマニュアルとアカウントの管理
- ・掲示板の管理
- ・業者との窓口
- ・改善点の検討と対処

2. 今年度総括

平成 29 年度は 5 人で活動を行った。会員専用ページ「近図雲」は、会員への情報発信や会員同士の情報交換ツールとして活用されていると感じる。例年どおり近図雲利用調査を実施した。

今後も年 2 回程度発生する「近図雲 PC メール通知エラー」を業者に対処依頼することや、会員機関の担当者変更時に利用説明をするなど細かい作業が残る。保守費用はデータの保全や不具合への対処に今後も必要だが、この費用はホームページ運営に詳しい部員がいることで軽減できると考えており、会員の積極的な参加を期待する。平成 30 年度も近図雲を含むホームページの安定運用に努め、病団協活動を支える。

3. 部 会

第 1 回 2017 年 6 月 25 日 (日) 茨木 5 名

4. 部 員

部 長：寺澤 裕子 (関労災)

部 員：井上智奈美 (三菱京)

深井 鮎美 (大津赤)

増田 徹 (藍野大)

松尾 知香 (石切病)

I-2-5. 目録サポートチーム

1. 活動報告

- (1) 近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録 Web 版 (KITOCat) 概要 (平成 30 年 2 月時点)
- (2) 近畿病院図書室協議会所蔵雑誌目録 Web 版 利用状況 (平成 29 年 1 月～12 月)
雑誌検索利用ログ：129,784
機関検索利用ログ：14,827

登録機関数	113 機関
登録タイトル数 ¹	4,361 タイトル
電子ジャーナルパッケージ商品のタイトル数	7,094 タイトル
所蔵レコード数 ¹	26,131 レコード
電子ジャーナルパッケージ商品所蔵レコード数	76,469 レコード

¹ 電子ジャーナルパッケージ商品のタイトル除く

電子ジャーナルパッケージ商品 内訳

電子ジャーナルパッケージ商品名	タイトル数	登録機関数
メディカルオンライン	1,268	35
南江堂オンライン Journal	22	0
最新看護索引 Web	15	4
ClinicalKey	672	12
ProQuest	1,504	4
Karger Online Journal コレクション	80	0
Ovid/LWW 医学パッケージ	68	0
Ovid/LWW 看護学パッケージ	58	0
Wiley M&N コレクション	413	0
Wiley DB モデル	1,485	0
ScienceDirect 病院版	913	2
JAMA Backfiles	32	0
CINAHL with Full Text ²	629	2
CINAHL Plus with Full Text ²	797	1
MEDLINE with Full Text ³	1,324	7
MEDLINE Complete ³	2,345	2

² CINAHL with Full Text と CINAHL Plus with Full Text 両方にタイトルの重複有り

³ MEDLINE with Full Text と MEDLINE Complete 両方にタイトルの重複有り

(参考：KITOCat の全レコード数)

参加図書館 (室) ネットワーク数	4 ネットワーク
登録タイトル数	25,461 タイトル
所蔵レコード数	271,758 レコード

2. 部 会

第 1 回 2017 年 9 月 13 日 (水) 尼崎 3 名
(業者 1 名を含む)

第 2 回 2017 年 9 月 20 日 (水) 神戸 3 名
(業者 1 名を含む)

第 3 回 2017 年 10 月 31 日 (火) 茨木 3 名
(業者 1 名を含む)

第 4 回 2017 年 12 月 6 日 (水) 尼崎 3 名
(業者 1 名を含む)

第 5 回 2018 年 1 月 26 日 (金) 尼崎 4 名

(業者 2 名を含む)

第6回 2018年 2月 15日 (木) 神戸 3名

(業者 1 名を含む)

部会以外に 2016 年 10 月 11 日 (火)、12 月 12 日 (月)、2017 年 3 月 27 日 (月)、2017 年 4 月 11 日 (火) に業者選定のために 2 つの業者に会って話し合いを行った。

3. 今年度総括

平成 29 年度目録サポートチームは、年度末の KITOcat サービス終了を受け、新しいシステムの構築に取り組んだ。業者決定後 2018 年 2 月の役員会までに、業者に 5 度会い、作業の進捗状況を確認しつつ、こちらの要望とすり合わせ、システムを構築していった。2 月中に新目録を会員に開放して練習期間とし、3 月中に KITOcat のデータを流し込む予定にしている。現時点では KITOcat が持っていた基本的な機能は再現できていると思うが、新しく付け加えた ILL 機能を含めて全体的に支障なくまとまりがついているかが 4 月 1 日日本稼動までの課題となっている。

他のネットワークについては、福島県医療機関図書室協議会と中国四国九州医学図書室ネットワークが、KITOcat に引き続き参加することになっている。当面は問題に直面し、改修の必要も出てくるかと思うが、目録システムとして長く愛され、たくさんの病院図書館を結びつける存在になってくれることを願っている。

4. 部 員

部 長：増田 徹（藍野大）

部 員：高橋眞由美（島根）

寺澤 裕子（関労災）

I-2-6. リポジトリ部

1. KINTORE 現況

近畿病院図書室協議会会員機関で構成される機関リポジトリ事業のこと、病図協会誌「病院図書館」と会員機関の病院紀要などを収載し全世界に公開している。

・参加機関：14 機関、アイテム数：1,019

・病院図書館 20 卷 1・2 号 (2000 年 7 月)

～34 卷 1 号 (2015 年)：計 901 アイテム

・参加機関：3 機関 (紀要・年報・図書)：計 118 アイテム

2. 活動報告

(1) 初回登録助成

6 月 6 日公式コミュニティで呼びかけ、申請のあった京都市立病院に助成を行った。

(2) JAIRO Cloud への移行説明会開催案内

現在 KINTORE に使用しているシステム DSpace を JAIRO Cloud に移行するための説明会案内があり、KINTORE の移行可能性と手順について確認するため、2018 年 1 月 19 日の説明会へ部員の増田氏を派遣した。

3. 今年度総括

2016 年 1 月 28 日に公開された KINTORE へは、今年度も参加機関から初回登録助成申請があった。リポジトリ部の主な活動は構築から維持へと移っており、KINTORE システム選定時に参加できなかった JAIRO Cloud への移行について打診を行ななどした。

今年度は 2 名で部活動を行った。次年度も引き続きリポジトリの意義、なぜオープンアクセスに取り組むのかを会員一人一人が理解し、行動できるよう活動を行う。会員機関図書館担当者のリポジトリ部活動への積極的な参加を期待する。

4. 部 員

部長：寺澤 裕子（関労災）

部員：増田 徹（藍野大）

I-3. 会員業績 (当協議会内関係での発表は除く)

(1) 深井 鮎美 (大津赤)

【行ってみたかった！図書館見学レポート】

立命館大学 平井嘉一郎記念図書館

日赤図書館雑誌 2017; 24(1) : 20-2.

(2) 深井 鮎美 (大津赤)

書誌事項に誤りのあった 19 世紀ドイツ語文献の入手例

日赤図書館雑誌 2017; 24(1) : 33-4.

(3) 高橋眞由美 (島 根)

病院図書室とネットワーク

第 53 回日本医学図書館協会中国・四国地区会

総会 2017 年 11 月 17 日 (会場: 島根大学)

(4) 高橋眞由美 (島 根)

ネットワークとの関わり方を考える

第 26 回島根県医療関係機関等図書館 (室) 懇

談会 2017 年 11 月 24 日 (会場: 松江市立病
院)

議案Ⅱ. 平成 29 年度会計・監査報告

(資料 1) 平成 29 年度予算

■収入の部		(単位:円)
科 目	金 額	備 考
正会員会費	3,420,000	114 施設×30,000 円
賛助会員会費	200,000	4 施設×50,000 円
購読会員会費	276,000	35 卷後払い 5、35(2)後払 2 か所、36 卷～37 卷 43 機関
広告掲載料	90,000	35 卷分
前年度繰越金	6,781,792	
合 計	10,767,792	

■支出の部		(単位:円)
科 目	金 額	備 考
〔事業費〕		
研修部	300,000	新任者勉強会、事例報告会、企画研修会 1 回
会誌編集部	450,000	35 卷 2 号、36 卷、37 卷各 2 号 5 冊@5 万、取材費など
統計調査部	50,000	部会会議費、交通費、調査報告書送付料など
ホームページ WG	20,000	部会会議費、交通費
目録サポートチーム	300,000	部会会議費、交通費、目録作成のための打ち合わせ
リポジトリ部	500,000	研修会、KINTORE 初回登録助成(4 万)など
対外活動費	300,000	関連団体への派遣費用、MIS 参加助成(3 万×3 人、5 万×3 人)
その他事業	700,000	研究助成金 30、交流会 10、新規事業 30
事業費合計	2,620,000	
〔管理費〕		
会誌発行費	3,400,000	35 卷 2 号、36-37 卷各 2 号計 5 冊×41 万、濱口さん図書 130 万円
目録メンテナンス費	2,700,000	保守 15 万円、新システム構築費 2,143,800 円、保守費(半年分 19.5)
HP メンテナンス費	300,000	月額 2 万円
リポジトリメンテナンス費	654,000	運用保守費用 5.4 万円×12 カ月、振込手数料
資料費	22,000	情報の科学と技術 20,916 円
資料管理費	20,000	取り出し・返却 6,000 円/2 回、月 700 円
会議費	150,000	総会、幹事会(総会は H27 年度分)
旅費交通費	300,000	総会参加助成金 3 万円×5 人を含む
通信運搬費	120,000	郵送 1 回につき約 1 万円
印刷製本費	50,000	総会資料など
諸謝金	55,000	総会特別講師 5 万円
消耗品費	80,000	協議会封筒など
業務委託費	20,000	
租税公課		
予備費	276,792	
雑費		
管理費合計	8,147,792	
合 計	10,767,792	

(資料2) 平成29年度 活動計算書

平成29年3月1日～平成30年2月28日

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員	3,360,000		
賛助会員	200,000		
正会員入会金	10,000		
賛助会員入会金		3,570,000	
2. 受取寄付金		0	
3. 事業収益			
会誌購読会費	22,500		
研修会参加費			
広告掲載料	90,000		
刊行物売上	218,145		
メデイカルオンライン使用料	3,108	333,753	
4. その他収益			
利息	55		
雑収入		55	
経常収益計			3,903,808
II 経常費用			①
1. 事業費			
研修部	96,152		
会誌編集部	57,886		
統計調査部	23,149		
ホームページWG	0		
目録サポートチーム	13,961		
リポジトリ部	28,470		
対外活動費	10,578		
その他事業	47,967		
事業費計		278,163	
2. 管理費			
会誌発行費	515,418		
目録メンテナンス費	130,032		
HPメンテナンス費	293,376		
リポジトリ保守費	757,296		
資料費	21,504		
資料管理費	7,260		
会議費	55,512		
旅費交通費	96,260		
通信運搬費	67,673		
印刷製本費			
諸謝金	50,000		
消耗品費	2,052		
業務委託費			
租税公課			
予備費			
雑費	20,076		
管理費計	1,977,989	2,016,459	
経常費用計	2,243,161		②
当期正味財産増減額		2,294,622	②
前期繰越正味財産額		1,609,186	③
次期繰越正味財産額		6,781,792	③
		8,390,978	④

①+③=10,685,600

②+④=10,685,600

(資料 3) 平成 29 年度 常費用事業費内訳

(単位：円)

	会議費	旅費交通費	通信運搬費	印刷製本費	資料費	諸謝金	消耗品費	業務委託費	雑費	計
1. 事業費										
研修部	216	36,160	164			59,504	108			96,152
会誌編集部	1,032	6,320	10,534			40,000				57,886
統計調査部	4,684	960	17,505							23,149
ホームページ WG										0
目録 ST	4,141	9,400	420							13,961
リポジトリ部		28,470								28,470
対外活動費	10,578									10,578
その他事業	36,017	11,950								47,967
計	56,668	93,260	28,623	0	0	99,504	108	0	0	278,163

(資料 4) 貸借対照表兼財産目録

平成 30 年 2 月 28 日現在

(単位：円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
手元現金	572,391
ゆうちょ銀行（総合）	6,586,781
ゆうちょ銀行（振替）	494,628
amazon 用口座	737,178
流動資産合計	8,390,978
2. 固定資産	
固定資産合計	0
資産合計	8,390,978
II 負債の部	
1. 流動負債	
流動負債合計	0
2. 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	0
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	6,781,792
当期正味財産増減額	1,609,186
正味財産合計	8,390,978
負債及び正味財産合計	8,390,978

(資料 5) 監查報告

平成29年度活動計算書と事業費内訳、貸借対照表兼財産目録を監査した結果、適法に処理記載されていると認めます。

平成30年3月9日

江尚行
林漢美作

議案Ⅲ. 新しい目録システムの運営について

2018年4月1日より KITOcat に代わる新しい目録システムが稼動する。構築の過程でいろいろなことを決めていく必要があったが、最終的な承認を総会で得たいと考えている。ひとつは名称を「小さな医学雑誌所蔵目録」、略称「coimo」(こいも) とすること。関西労災病院図書室寺澤氏が考案した。それから所蔵館が見つからない資料の入手手段として、ひきつづきメディックス・ジャパンの MiLC-DDS との連携を考えている。また昨年の総会で、「総合目録はできるだけ多くの施設に利用されることがその目的にかなうことであり、他のネットワークやさらには個々の施設にも参加を呼びかけ、またそこから妥当な利用料を徴収して新しい Web 目録の維持・管理費に充てられればと考えている」として承認を得たが、具体的に他のネットワークの参加費を KITOcat 同様 1 機関 2,000 円としたい。近畿負担分の維持費は、トータルでは KITOcat 時より数万円増えるが、1 機関当たり 1,711 円となり維持費として無理な金額ではないかと考える。また総合目録本来の意義においても、維持費の軽減においても、他ネットワークの参加を促していきたい。

参加機関数：福 島 29 機関

中四九 56 機関

近 畿 111 機関

保守費：30,000 円/月 × 12 = 360,000 円

2,000 円 × (福島 29 機関 + 中四九 56 機関) = 170,000 円

(360,000 円 - 170,000 円) / 近畿 111 機関 = 1,711 円

(提案者：目録サポートチーム)

議案Ⅳ. KINTORE の現在使用している DSpace から NII の JAIRO Cloud への移行について（否認）

KINTORE システム選定時、国立情報学研究所が運営する JAIRO Cloud に参加できず、DSpace を利用し構築した。今回、DSpace ユーザーを対象とした JAIRO Cloud への移行説明会時に改めて申し入れたところ、JAIRO へ入会後審査となるため、入会および JAIRO Cloud への移行についてご審議いただきたい。費用は構成員数で変わり、基本会費 2 万円～6 万円、JAIRO Cloud 利用料金は 43,200 円～691,200 円である。

(提案者：リポジトリ部)

議案V. 会誌「病院図書館」発行回数の変更について

会誌編集部員をとりまく状況および病院図書館員全般の就労環境・職業意識の変化などにより、会誌「病院図書館」の編集・発行作業に無理が生じてきていると、会誌編集部員は感じている。

発行中止の案もあったが、少なくとも年1回発行は守りたいと考える。会誌の発行回数を37巻分から年2回を年1回に変更したい。

(提案者：会誌編集部)

議案VI. 図書館員の会長職への就任（否認）

近畿病院図書室協議会創設以来、会長には会員の施設長が就任している。協議会創設当初から会員は個人会員ではなく施設会員としていたのは、図書館員が施設長と関係を築いて、施設の理解の下、病院図書館が運営されていくべきものと考えられていたからである。協議会の運営においても、会長のバックアップや決断に支えられてきた場面が多々あったと聞いている。しかしながら、近年は会長職が有名無実化し、幹事の所属機関の施設長に無理にお願いしてお名前をお借りしている状態で、病院以外の施設長が会長を歴任している。協議会にとって会長は必ずしも施設長である必要はなく、現に日本病院ライブラリー協会では図書館員が会長を務めている。協議会会則でも会長就任に必要な資格は記されていない。ただし第8条(会議)に、「1. 役員会 会長、幹事、事務局長で組織し、会の主要事項を審議する。2. 幹事会 幹事と事務局長で組織し、会の運営に当る」とあるので、当面は会則を改正せず、会長と事務局長の兼任にしたいと考えている。

(提案者：事務局)

議案VII. 平成30年度活動方針

ひきつづき新しい目録システムの整備に注力したい。会誌の発行を年1回にする他は、例年通りの事業活動を維持していきたい。会員施設の積極的なご協力をお願いしたい。

議案VIII. 平成30年度事業計画

1. 教育研修活動

- *研修会・勉強会の開催
- *研修会参加交通費の助成
- *関連団体の研究・研修会への案内と参加奨励
- *研究助成金制度の継続
- *総会参加助成制度の継続
- *地域交流会の開催

2. 出版広報活動

- *会誌「病院図書館」の発行
- *図書の出版
- *ホームページの公開とそのメンテナンス
- *会誌・会報バックナンバーの収集保存および公開
- *ニュースレターの発行

3. 医学文献情報活動

- *医学雑誌現行情報の収集
- *雑誌総合Web目録の維持・管理
- *共同リポジトリの運営

4. 年次統計などの調査活動

- *年次統計と相互貸借の調査

5. 対外活動

- *関連団体との交流・連携

議案IX. 平成30年度予算

(資料6) 平成30年度予算

■収入の部		(単位:円)	
科 目	金 額	備 考	
正会員会費	3,360,000	112 機関×3万円	
賛助会員会費	200,000	4 施設×50,000円	
購読会員会費	1,500	35(2)後払1か所	
広告掲載料			
前年度繰越金	8,390,978		
合 計	11,952,478		

■支出の部		(単位:円)	
科 目	金 額	備 考	
〔事業費〕			
研修部	300,000	新任者勉強会、事例報告会、企画研修会1回	
会誌編集部	400,000	36巻2号。37~38巻各1号計4冊@5万、取材費など	
統計調査部	50,000	部会会議費、交通費、調査報告書送付料など	
ホームページWG	20,000	部会会議費、交通費	
目録サポートチーム	300,000	部会会議費、交通費、目録作成のための打ち合わせ	
リポジトリ部	500,000	研修会、KINTORE 初回登録助成(4万)など	
対外活動費	300,000	関連団体への派遣費用、MIS 参加助成(3万×3人、5万×3人)	
その他事業	700,000	研究助成金30、交流会10、新規事業30	
事業費合計	2,570,000		
〔管理費〕			
会誌発行費	3,500,000	36巻2号、37~38巻各1号計4冊×55万、濱口さん図書130万円	
目録メンテナンス費	3,000,000	保守30万円、新システム構築費2,143,800円	
HPメンテナンス費	300,000	月額2万円	
リポジトリメンテナンス費	925,000	運用保守費用5.5万円×3カ月、76万(JAIRO)	
資料費	22,000	情報の科学と技術20,916円	
資料管理費	48,000	取り出し・返却6,000円/2回、月3,000円	
会議費	150,000	総会、幹事会(総会はH28年度分)	
旅費交通費	300,000	総会参加助成金3万円×5人を含む	
通信運搬費	120,000	郵送1回につき約1万円	
印刷製本費	50,000	総会資料など	
諸謝金	55,000	総会特別講師5万円	
消耗品費	80,000	協議会封筒など	
業務委託費	20,000		
租税公課			
予備費	812,478		
雑費			
管理費合計	9,382,478		
合 計	11,952,478		